

令和 6年度予算見積調書

課室名：地域包括ケア課
 担当名：認知症・虐待防止担当
 内線：3251

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S86	共生のための「チームオレンジ」構築支援事業			一般会計	民生費	社会福祉費	老人福祉費	在宅高齢者支援事業費		
事業期間	令和3年度～令和7年度	根拠法令	介護保険法第5条3項、認知症総合戦略推進事業実施要項		針路	03	介護・医療体制の充実		SDGsゴール 3	
					分野施策	0301	地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり		SDGsターゲット 3-c	
1 事業概要	認知症の人に対する地域の支援を広げるため、「チームオレンジ」を構築するとともに、認知症本人による「埼玉県オレンジ大使」を設置し、本人発信を支援する。 ア 「チームオレンジ」構築支援事業 6,463千円 イ 認知症本人大使「埼玉県オレンジ大使」任命事業 168千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 「チームオレンジ」構築支援事業 6,463千円 (ア) オレンジチューター派遣事業 5,142千円 地域において認知症の人やその家族と認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ」の構築を行う市町村を直接支援する専門職（オレンジチューター）を設置、派遣する。 (イ) チーム関係者向けセミナーの開催 1,321千円 「チームオレンジ」の設置について市町村担当者やチーム員向けの説明会を開催する。 イ 認知症本人大使「埼玉県オレンジ大使」任命事業 169千円 認知症本人の発信支援を行うため、「埼玉県オレンジ大使」を設置する。 (2) 事業計画 ア 「オレンジチューター」を配置（1名） 「チームオレンジ」の構築を支援するために各市町村に配置する、コーディネーター向けの研修開催（2回）、チームオレンジリーダー向けの研修会開催（2回）、個別支援 イ 「埼玉県オレンジ大使」を任命 令和4年度末時点で合計4名を任命。令和6年度も追加任命実施予定。引き続き該当者がいれば任命を行う。県内各地で開催される認知症サポーター養成講座等で講話などの普及啓発活動を行う。 (3) 事業効果 ア 地域で認知症の人と家族を支える体制を整備する（オレンジチューターの設置1名）。 イ 認知症本人の普及啓発活動により、認知症に対しての理解が深まる（埼玉オレンジ大使4名）。						
2 事業主体及び負担区分	ア 国10/10、県0 イ 国1/2、県1/2									
3 地方財政措置の状況	なし									
9,500千円×1.0人=9,500千円										
予算額		財源内訳							一般財源	前年との対比
		国庫支出金								
決定額	6,631	6,547						84	△8	
前年額	6,639	6,551						88		

事業内訳書

事業名	共生のための「チームオレンジ」構築支援事業		
単位事業名	「チームオレンジ」構築支援事業	予算額	6,463千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	6,463	0	老人福祉費補助金 補助率 定額
合計	6,463	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	221	0	講師謝金 2人
旅費	48	0	調整用務 2人
需用費	224	0	消耗品、テキスト印刷 2,000部
委託料	5,070	0	オレンジチューター派遣事業 1人
使用料及び賃借料	900	0	会場使用料 2回等
合計	6,463	0	

単位事業名	認知症本人大使「埼玉県オレンジ大使」事業	予算額	168千円
-------	----------------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 社会福祉費補助金	84	△4	老人福祉費補助金 補助率1/2
一般財源	84	△4	
合計	168	△8	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	126	0	オレンジ大使講師謝金 3人
需用費	42	△8	広報印刷 420部
合計	168	△8	